

令和6年度
総務政策環境常任委員会
行政視察報告

視察の概要①

◎視察実施日

令和6年11月13日(水)～令和6年11月15日(金)

◎参加者

委員長:黒木 雅由

副委員長:友石 司

委員:黒木 正、黒木 健二、
帆足 武男、日高 和広



周南市視察時の様子

視察の概要②

◎視察先及び調査事項

【山口県周南市】

- ・徳山駅前賑わい交流施設/徳山駅前図書館について

【岡山県高梁市】

- ・複合図書館の整備・運営について

【大阪府守口市】

- ・守口市立図書館整備事業について



高梁市視察時の様子

■徳山駅前賑わい交流施設/徳山駅前図書館について

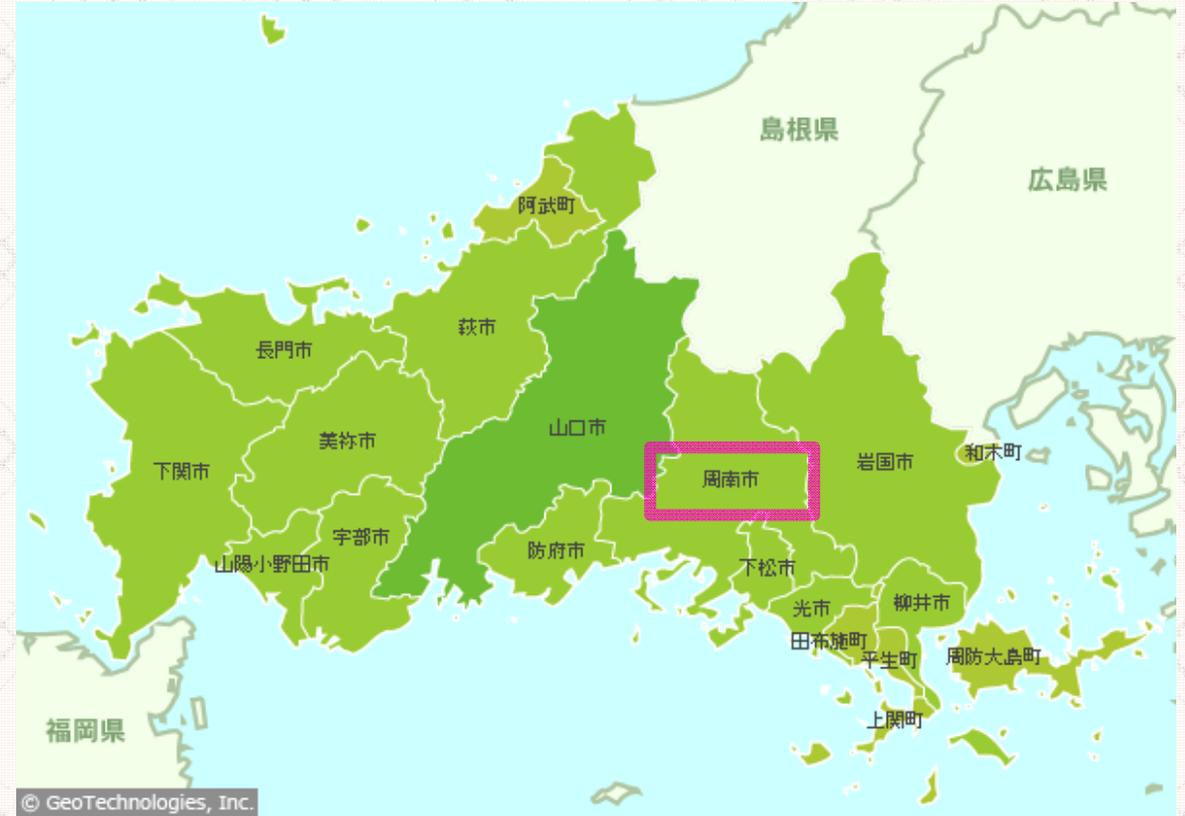
山口県周南市の概要

【人口】 135,336人 (令和6年7月)

【世帯数】 68,039世帯 (令和5年10月)

【面積】 656.29km²

山口県周南市は、中国地方の南部に位置し、瀬戸内海に面した美しい自然と豊かな歴史を持つ都市です。周南市は、四季折々の風景が楽しめる地域で、特に春の桜や秋の紅葉が見事です。気候は温暖で、年間を通じて過ごしやすい環境が魅力です。



視察の概要

◎視察先及び調査事項

【山口県周南市】

・徳山駅前賑わい交流施設・徳山駅図書館について

・平成30年の2月に「このまちへ来る人へのおもてなしの場」「このまちに住んでいる人たちの居場所」「人が集い楽しむこのまちの賑わいと交流の場」と3つのコンセプトをもって運営がスタートしました。
図書館運営はCCC（カルチャー・コンビニエンス・クラブ）が行いカフェ運営や様々なイベントを企画し来場者数の増加につなげています。



▲イベントで設置していたツリー



▲図書館の外観

■徳山駅前賑わい交流施設/徳山駅前図書館について

～山口県周南市視察を終えた各委員の所感①～

- ・自治体規模の違いで取り入れることが難しい部分もあるが、管理運営会社CCCのノウハウと同社の持つネットワークの力でスマートな、若者にとって魅力的な場所であると同時に、周辺施設との一体感と、市の中心としての機能が際立っていました。



■徳山駅前賑わい交流施設/徳山駅前図書館について

～山口県周南市視察を終えた各委員の所感②～

・反対に天井が高く、LED照明、木のぬくもりといった、ゆったりとした空間も捨てがたく、広く市民の意見や有識者の意見を聞きつつ、日向版の図書館建設構想を目指すべきと感じます。



◀キッズライブラリー

■複合図書館の整備・運営について

岡山県高梁市の概要

【人 口】 26,306人 (令和6年7月)

【世帯数】 13,240世帯 (令和6年7月)

【面 積】 546.99km²

岡山県高梁市は、中国地方のほぼ中央に位置し、豊かな自然と歴史的な魅力が詰まった地域です。高梁市は「備中松山城」で知られ、日本で唯一、天守が現存する山城としてその美しい姿を残しています。標高430メートルの山頂に築かれたこの城は、国の重要文化財に指定されており、四季折々の美しい景観が楽しめます。



■複合図書館の整備・運営について

視察の概要

岡山県高梁市の複合図書館は、人口減少と2040年には市人口の半数以上が高齢者となってしまう危機感から「未来につなぐ図書館」をコンセプトに全体事業費、約20億円で建設され図書数は約15万冊、座席数約300席を保有しています。



図書館の内観▶



複合施設としては高梁バスセンターや備中高梁駅東西連絡道と連結し三つの施設が複合しており、建物は地上4階の鉄骨、鉄筋コンクリート造で、1階はマッサージ、クリーニング、飲食店、2階は観光案内、図書館、テナント店（スターバックコーヒー、蔦屋書店）、3階は図書館と学習室、4階は図書館と子供や親子が楽しく過ごせる為の読み聞かせスペースやキッズテラスが設けられています。また、4階のテラスからは現存12天守の一つであり、日本三大山城の一つである備中松山城を望むことができます。

今回視察で使わせていただいた部屋も、普段は学習スペースとなる。▶



運営においては施設管理団体に業務を委託しており開館時間は朝9時から夜9時まで365日開館。Wi-Fiを完備し公式LINEからの図書の貸出延長、予約、検索や市内での移動図書館、近隣7市3町の図書館と連携して本の返却を可能とする等のサービスを行っています。また、イベントを数多く(年に約800回)行い集客を図っています。直近では高齢者向けのイベントに力を入れているそうです。



▲イベントで作成した物の展示コーナー



◀4階フロア(キッズライブラリー)への階段。可愛い装飾がされている。

～岡山県高梁市視察を終えた各委員の所感①～

・従来の「静かな学びの場」というイメージを超えて、地域住民が集まりやすい「賑わいの場」として設計されており、徳山駅前図書館と同様に本だけでなく雑貨やカフェスペースが併設されていることで、図書館が日常生活の中で気軽に利用される空間との印象を受けました。また備中松山城観光の拠点となっていることから、図書館が観光客の立寄りスポットとして活用されています。建設時の依存財源が社交金と過疎債で7割余りであり、自主財源を極力抑えられたことが事業推進の強みとなったように思えます。また市内に吉備国際大学があることから、学生の需要も多いと考えられます。

■複合図書館の整備・運営について

～岡山県高梁市視察を終えた各委員の所感②～

- ・賑わいを創出するための年に800回近くのイベントやきめ細かいサービスの提供に熱意を感じられました。
- ・全国的な流れに乗った手法であり、同社が持つネットワークでさまざまな取組みが実施されており、若者には魅力的な施設です。



◀4階のキッズライブラリー。完全に独立しており、子供が大きい声を出しても、周囲を気にすることがないようになっている。

キッズライブラリー横のテラスには遊具が置いてあり、子供が遊べるスペースもある。▶



■複合図書館の整備・運営について

～岡山県高梁市視察を終えた各委員の所感③～

○ 周南市・高梁市ともに管理運営はCCC（カルチャーコンビニエンスクラブ）が運営していて、感じたことは全てにおいて地域的な背景のソフト面については若干の違いはあるもののレイアウト等については差異がなく、延岡市の駅中図書館とも同じような雰囲気を感じました。



▲図書館の外観

■守口市立図書館整備事業について

大阪府守口市の概要

- 【人口】 141,030人 (令和6年7月)
- 【世帯数】 74,220世帯 (令和6年7月)
- 【面積】 12.71km²

守口市は、大阪府の北東部に位置し、大阪市内に隣接する都市です。人口約14万人の中規模都市であり、交通の便が非常に良く、大阪市内へのアクセスが容易です。守口市は、豊かな自然と歴史的な背景を持つ魅力的な街です。

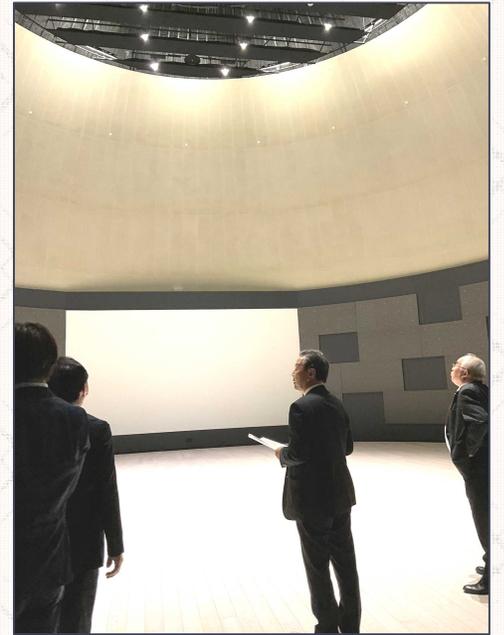


■守口市立図書館整備事業について

視察の概要

令和2年6月に守口市に開設されたこの図書館は、元々の生涯学習施設を大幅にリノベーションすることで誕生しました。その運営は協働企業体による指定管理で進められており、図書館法に基づく複合的な施設として、新たな形で市民に利用されています。特徴的なのは、4つのフロアにそれぞれ「出会い」「学び」「つながり」「発信」というテーマを設定し、生涯学習と図書館機能を融合させた構造となっています。市民参加型のイベントを多数開催しており、絵本作家を招いたイベントや月に1回のロビーコンサートなど、多彩な事業を展開しています。

前施設のものをそのまま活用させた、2種類のコンサートホール。▼▶



■守口市立図書館整備事業について

蔵書が約21万5000冊のこの図書館は、1階のカフェスペースをはじめ各階で異なる利用が可能で、来館者数は年間約32万人に及んでいます。すべての本にはICタグが付けられ、貸し出しや返却、予約の全自動化が進められ、利用者の利便性を高めています。この図書館はただの読書の場に留まらず、防災施設としての役割や地域コミュニティとしての機能も兼ね備え、さまざまな層に向けた交流の場を提供しています。



◀カフェスペースでは、コーヒー、パンを販売。

読書通帳サービス。読書カードのように、読んだ本を記録でき、子供は無料で利用できる。▶



■守口市立図書館整備事業について

～大阪府守口市視察を終えた各委員の所感①～

- ・地域住民にとって親しみやすい「身近な学びと交流の場」としての役割が際立っています。幅広い年齢層を対象にした取組みや多文化共生を意識したサービスが充実しており、地域コミュニティの中核を形成している。
- ・既存施設のリノベーションによるコストの削減や旧施設を活かしたレイアウト等が顕著であり感銘を受けました。



テーマで作る「100年の本棚」▶



■守口市立図書館整備事業について

- ・地域コミュニティの場と「集い・学び・交流する」複合施設であり、図書館が単に図書の閲覧や貸出に止まらず、アクティビティの創出、活動の拠点となっており、大いに参考になります。
- ・図書館を複合型として運営した場合は、図書館と何を複合するのか、コンセプトが必要と感じました。ハードとソフト両面を十分に議論することが必要です。



◀図書館内に併設された
歴史資料室。

吹き抜けになった読書スペースでは、月1でミニコンサートが開催される。▶



■守口市立図書館整備事業について

- ・複合施設図書館としては、空間の表現が巧みであり、県内の都城市立図書館に類似していました。空間から演出できる機能性と安らぎは重要です。
- ・JVによる運営は斬新な印象で、すべての年齢層が集える滞在型図書館を目指した取り組みは一考すべき点でしょう。



▲絵本作家の谷口智則さんにより、ライブペイントイベントにて作成された絵画。

総務政策環境常任委員会

委員長
副委員長
委員

黒木 雅由
友石 司
黒木 正
帆足 武男

黒木 健二
日高 和広

